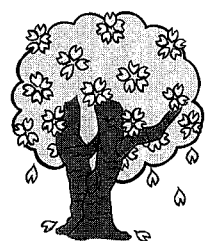


# ふくしのひろば



## 草津学区防災訓練と 防災フェア

平成 30 年 11 月 18 日 (日) 草津学区防災訓練と防災フェアが草津小学校であり、幼児から高齢者まで約 420 人の参加がありました。

2019.2.6 中国新聞朝刊抜粋

平成最悪の被害をもたらした西日本豪雨は、各地で甚大な被害が発生してから 6 日で 7 カ月。災害を教訓に、私たちは何を、どう備えなければならないのか。早めの避難を実現する方策や避難所運営の改善など、備えの現状と課題を見る＝16・17面に特集。  
(災害取材班)

いのちを守る  
検証 西日本豪雨  
備えはいま ①

## 近所の声掛け避難の鍵

### 早めの行動で被害防ぐ



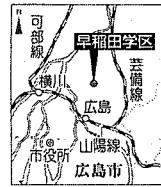
西日本豪雨によって崩れた斜面の前で、避難当手を振り返る吉岡さん(左)と丸山さん(右)＝広島市東区牛田早稲田 (撮影・福井宏史)

JR広島駅から北に約2キロ。広島市を豪雨が襲った。昨年7月6日夜、東区牛田早稲田の自らの丸山さん(左)は激しい雨が気になつた。市指定避難場所である集会所まで坂道を歩いて約15分。それまでに避難し経路はなかった。自宅前の斜面から濁った水が噴き出した。避難しよ。でも土砂降りだし、一瞬で土砂降りだした。

### つながり「復権」へ

#### 隣家と集会所へ

一人暮らしの丸山さんの背中を押ししたのは隣家の誘いだ。地元町内会の副会長岡本明さん(63)と妻早稲田さん(61)。斜面の異変

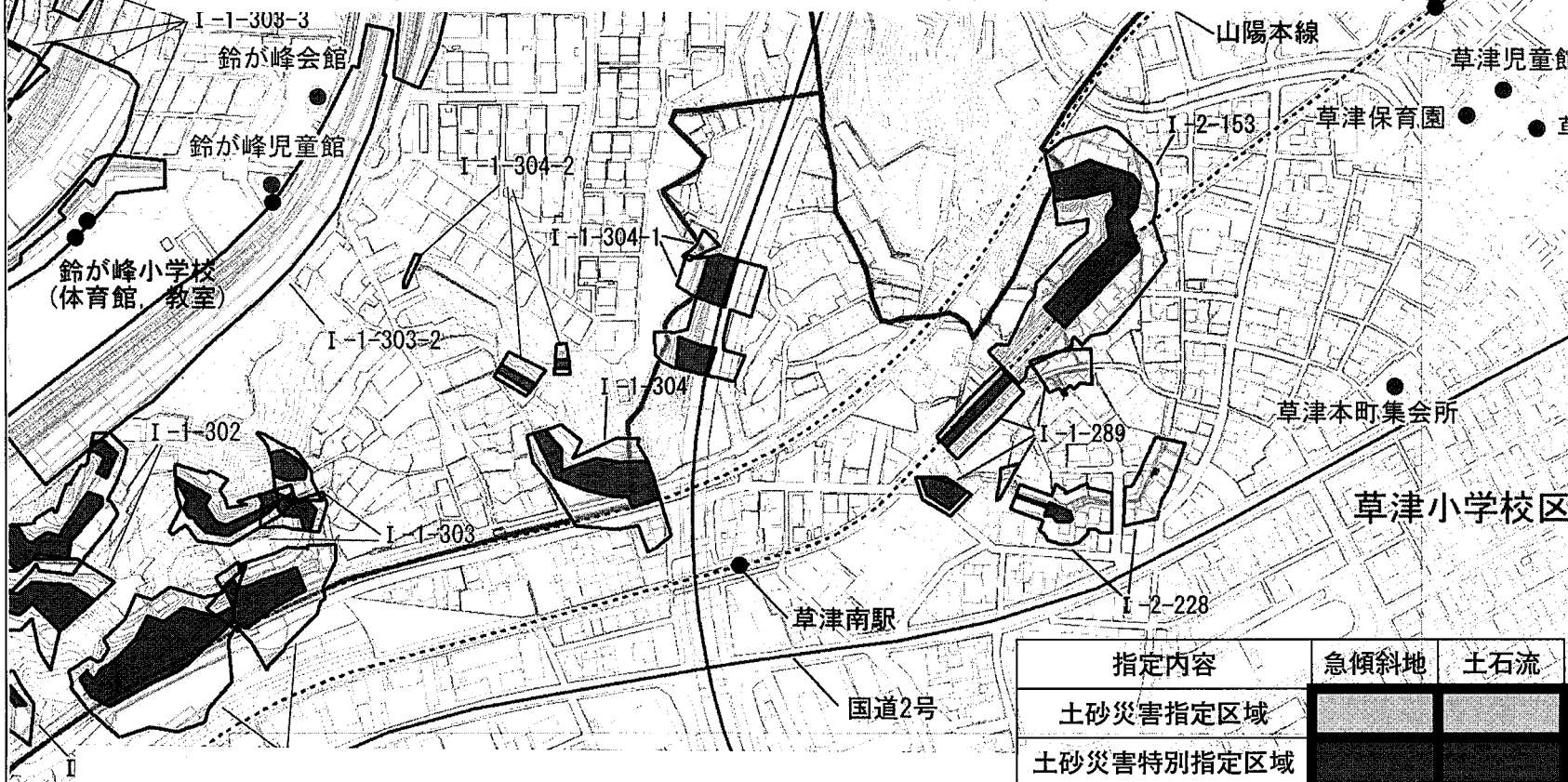


体育館では、各町から集合した避難者の名簿作成、続いて避難所生活の体験をするため段ボール簡易トイレ・段ボールベッドを組み立て、高さ150cmの間仕切りの体験や床上ブルーシートを敷き通路を確保し点字ブロック代わりにしました。  
その他、医師による負傷者の判別トリアージの話聞いた後、AEDの講習会もありました。  
グラウンドでは女性会による豚汁やアルファ化米の振る舞いがあり大盛況でした。  
さらに大雨、煙、土石流体験の3D映像放映・市西消防署の消防車、西警察のパトカー、白バイ乗車体験もありました。  
参加者も他の災害被災地を他人事とせず、自分の命は自分で守る。こととし、常日頃から避難準備を心がけることや近所どうしで声掛けあい避難することが非常に大切であることがわかりました。



草津小学校体育館で実施 約90名参加

## 2019.2.6 土砂災害警戒区域の指定に係る説明会資料 (広島県西部建設事務所)



指定内容	急傾斜地	土石流
土砂災害指定区域	■	■
土砂災害特別指定区域	■	■

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 位置図  
〔草津小学校区〕 【急傾斜・土石流】

## ふれあいの集い

1月25日午後、草津小学校の体育館で、1年生の児童136名、保護者、地域の方々、民児協の人々が参加して羽根つき、コマまわし、お手玉、おはじき、紙風船、竹とんぼ、ケン玉、といった昔遊びを楽しみました。

最初に(ゴミ)追放ポスター)入選者の表彰式があり、続いて草津小学校吹奏楽部の演奏がありました。

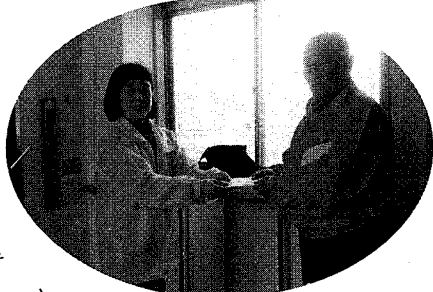
社協の柿岡会長の「はじめの言葉」に続き、1年生の「むかえの言葉」で始まり、各遊びを一周して、最後に一年生の歌と合奏を聞いて、3時過ぎまで楽しい時を過ごしました。

昔遊びに参加した皆様、お疲れ様でした。



## ふれあいバザー収益金

平成30年11月9・10日に公民館まつりにおいて、開催された「ふれあいバザー」の収益金が12月1日、草津公民館3階の福祉講演

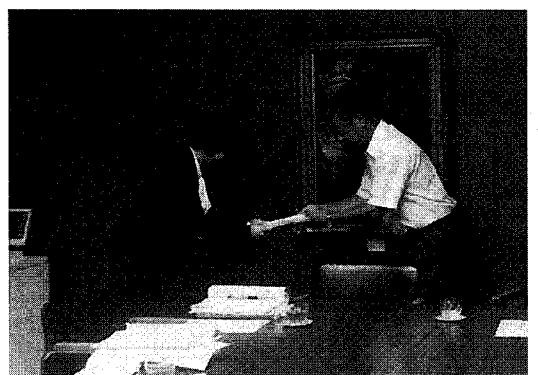


会会場に於いて、民生委員児童委員協議会会長 大迫氏より「ふれあいグループリ元気な仲間たち」会長 森川氏へ贈呈されました。このバザーは草津・庚午南地区の住民の皆様のご協力と民生委員の協力によって行われています。収益金は秋に実施されるバスハイクのバスの借入などに使われます。



## 第27回町点検の要望書提出

平成30年7月1日に草津学区全町内会毎に障がい者や高齢者等の弱者の視点で町を歩き道路の不全箇所を見つけ、西区役所において区長・部長・課長の出席のもと、要望書(約140か所)を提出しました。回答は1月にいただきました。しかし、市も厳しい財政事情でもあり、全箇所を施行することは困難で、厳しい回答となりましたが、年々少づつ町が良くなっています。



## ふれあいバスハイキング

平成30年11月25日(日)草津球場を障がいバスと観光バスの2台約60人が、福山市の「みろくの里」へと出発し、約2時間30分後到着、直ぐに昼食をとり、その後は各自自由行動をしました。国内の昭和30年代の雰囲気を残している「いつか来た道」に踏み入ると、赤いポストの郵便局、なつかしい教室、駄菓子屋、民芸品の店の街並みが連なり、雑

貨、おもちゃ、写真等を見ながら昭和へのノスタルジーのひとつを過ごし、ふれあいランドでは馬、牛、犬等動物とふれあった後、広い園内をゆっくりと歩きながら、すべり台、ブランコに乗って遊んでいたら、トロッコを見つけ、乗りました。2人でトロッコを漕ぎながら、一周するのですが、思った以上に力いっぱい漕がないと動いてくれないし、一



周の長いこと、長いこと高い所から下を見ると落ちそうに感じ、背筋が寒くなり、スリル満点でした。トロッコから降りて、池のまわりを散策した後、帰途に着きました。

## 平成30年度

### 「福祉協力員・町内会役員

### ・民生児童委員研修会」

平成30年12月1日(土)午後1時から3時に草津公民館で公衛協の健康教室に引き続き、西区地域起こし推進課の太下主幹を講師に迎え「災害について」の演題で研修会が行われました。

はじめに昨年の西日本集中豪雨災害について引き続き広島市東部の矢野や狩留家の北部が大きく取り上げられています。西区内でも多くの災害が発生したとのことでした。その中で

- 1 市民が避難情報を知った一番多いのは約80%がテレビ
- 2 避難は雨風等がひどくなる前安全に避難できる時に無駄になっても近所で声を掛け合っ非難することが大切であること



等の話がありました。

今後市は

- 1 避難行動支援者の個人計画の作成
- 2 土砂災害警戒区域の指定説明会
- 3 わがまち防災マップ作製等を地域の協力を得ながら実施する予定であると説明がありました。

## ▽編集後記△

3月になって桜の開花が話題になり、ちょっと浮き浮きした感じになっていました。草津町内で火事が発生、全焼となりましたが、住人の方には怪我もなく一晩町内の住宅に泊まり、翌日親類宅へ町を出て行かれました。4月になって新元号の発表で日本中がざわついていて、再び火事の発生、一人暮らしの男性でしたが、これも怪我もなく無事でした。夜遅くになって宿泊所を探すハメになりましたが、区的生活課の職員さんや町内の方々のおかげで問題解決、翌日中広の市営住宅を借りることができ、落ち着くことになりました。

防災は、自然災害だけでなく、火事等への注意、又被災した場合町内で助け合える事は、何か？連絡は何処へするか等々学ぶべき事が沢山ありました。

(R)